

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール			
	目標の達成			
	他者との協働			
	学力と関係が深い質問			
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化			
	話すこと・聞くこと			
	書くこと			
	読むこと			
算数	数と計算			
	図形			
	変化と関係			
	データの活用			
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>・国語のひらがなの学習では、多くの児童がすすんで字を書こうとする姿勢が見られる。また、言葉の学習としてドリルパークを活用し、言葉の学習に取り組む児童の学習時間の1か月平均が2時間以上となっている。一方で、単元のワークテストでは、拗音と促音を問う設問の正答率が低かった。作文では、拗音や促音を正しく用いることができない児童が多くいる。</p> <p>・算数の学習では、たし算とひき算に楽しんで取り組む児童が多い。ミライシードのドリルパークでは学習時間の1か月平均が4時間以上となっている。一方で、授業の中で、「のこり」と「ちがひ」の違いに気付かず、誤答をする児童も見られる。単元のワークテストのひき算の文章題で問題場面を正しく読み取れず、誤答をする児童が見られた。</p>		<p>・国語の書字の学習では、すすんで取り組む姿を認めていくとともに、丁寧に字を書いている姿を褒める。作文するときは、拗音と促音を正しく用いることができているか確認するように促し、文章を書く力を伸ばす。拗音や促音の理解が浅い児童には、発音に合わせて手を叩きリズムで覚えることができるようにする。また、授業の中で学習内容の補完として、ミライシードのドリルパークの問題に取り組ませる。</p> <p>・算数の学習では、たし算とひき算にすすんで取り組む姿を認める。毎授業の初めに、前時に学んだ内容を復習する。「あわせて」「のこりは」など文章題から正しく立式するためのキーワードを示したり、正答している児童をピックアップし、理由を説明させたりする活動を取り入れる。</p>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況				
確認テストの実施状況				